

# 社 報



## 資本金を増資

8月25日、株主割当有償増資を実行いたしました。これにより当社の資本金は900万円から、1,500万円になりました。

一昨年に資本金300万円でスタートしてから、有償増資を重ねて1,500万円にしたことで信用力も増してきたのではないかと思います。しかし、まだまだ当社の信用力は低いことを認識して、さらに有償増資を実行いたします。次の増資は年内にさらに、500万円を増資して、資本金を2,000万円にいたします。

## 株式会社に

上記の増資に関連して、資本金が1,000万円を越えましたので、法人を改組して株式会社に移行いたします。現在、移行手続きに入っており、9月中には完了する予定です。

## 「管理」とはなんぞや？

良く「管理」という言葉が使われますが、「管理」とはどういう状態を言うのでしょうか。

人でも物でもお金でも、きちんと管理することは困難なものです。本当の意味での管理状態を実現することはあり得ないかもしれません。しかし、ビジネス社会は管理社会と言われ、仕事と管理は切り離すことはできません。

仕事 = 管理であるのに、「管理」が分からない、そんなことにならないように、この社報でも管理についてはいろいろと述べてきました。

しかし、管理を実現することは困難であり、これから幾度も管理不在を叫ばねばならないでしょう。

管理不在の典型例は何かと言うと、それは仕事がうまく流れていることです。仕事は順調に進み、お得意先からのクレームもなく、工程や納期も問題なく、売上げや利益を確保できている、こんな時に管理は不在になるのではと思います。

今、述べた状態は、非常に良い状況ですが、問題はそれは管理を行って実現したものか、たまたまそう

なったものなのか、そこを考えねばなりません。

思えば、仕事は順調に流れることが前提であり、そうでなければ会社などひとたまりもなく倒産してしまいます。そう、普通の仕事は管理状態になくとも、ギクシャクしながらもなんとなく完了するのです。

クレーム・トラブルなど滅多に発生することはありません。なんとなく、仕事をしてそれなりの成果が出ている、この状態が危険信号です。

管理とは、

あるべき姿を定める

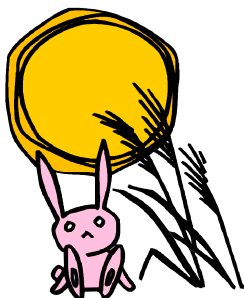
あるべき姿と現状の違いを知る  
対策を講じる

あるべき姿を見つなおす

すなわち、管理は無限に向上するものであり、終わりはありません。

あなた自身は今あるべき姿を実現していますか、そうではないでしょう。誰もがそうではないのです。仕事も同じです。今の状態があるべき姿であるはずなどあり得ません。では、あるべき姿とはなんですか。仕事のあるべき姿を思いながら、あなたは仕事をしていますか。

社報は当社ウェブサイト(ホームページ) <http://www.forbuild.co.jp> に掲載中！



9月18日はお月見  
もうすぐ涼しくなるね

## 来年も学卒者を採用

9月になりますと、来春卒業予定の高校生の就職応募が始まります。当社にも事前に、職場見学や応募の打診があり、数名の応募者があると見込まれます。

今年の新入社員も来年には後輩が入ってきますので、お楽しみに！

## 安全成績 (H17年)

現場災害 H17.1.1-H17.9.3

休業災害 ----- 0

不休災害 ----- 1

物損災害 ----- 0

その他 ----- 0

合 計 ----- 1

交通災害 H17.1.1-H17.9.3

人身災害 ----- 0

物損災害 ----- 1

合 計 ----- 1